# 浦和大里小学校だより

４月号　令和５年４月１０日発行

**教育目標**
夢と希望をもち、
人間性豊かで
心身ともに
たくましい子の育成


## 希　望

校　長　　中野　緑

暖かな日差しが降り注ぐ校庭の桜の花びらが舞っています。丹精込めて準備した花芽が一斉に芽吹き、浦和大里小学校が花にあふれるこの時期、新たな出会いがあることを嬉しく感じます。

お子様の御入学、御進級、おめでとうございます。職員一同、心からお喜び申し上げます。さて、このたびの人事異動により、鈴木 敦 前校長の後任として、４月１日付けで着任いたしました中野 緑（なかの　みどり）と申します。前任の　鈴木 敦 校長先生の築いてこられた実績と浦和大里小学校の伝統を大切に引き継ぎ、地域の方々や保護者の皆様のお力添えをいただきながら、力を合わせて子どもたちの幸せのために、努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

本年度は、新入生１５２名を迎え、３０学級、９１２名の児童と、教職員６０名でのスタートとなります。新年度を迎え、児童一人ひとりが気分を一新し、明るい希望を胸いっぱいに広げていることでしょう。

どのような状況にあっても、子どもたちの笑顔が未来への希望です。変化の激しい世の中、様々な文化や価値観を背景とする人々と相互に尊重し合いながら共に生きるため、学校では「新しいことに挑戦したい」「自分ならできる」と自分を信じる気持ち、そして、やりたいことを実現につなげていくための確かな学力をしっかりと身に付けさせることが大切だと、私は考えています。

年度当初には教職員と共に、令和５年度の学校教育目標等を確認し合いました。令和５年度も学校教育目標は、引き続き**「夢と希望をもち、人間性豊かで心身ともにたくましい子の育成」**とし、校訓を**「かしこく　やさしく　たくましく」**といたしました。本校では**「喜んで登校、笑顔で下校」**をキャッチフレーズに掲げ、教職員が互いに切磋琢磨し、互いの指導力の向上を図ることで確かな学力とやり抜く力をはぐくむこと、そして、子ども一人ひとりを大切にし、そのよさや可能性を最大限発揮できるよう、褒めて認めて励ます声掛けをたくさんしよう、と話し合いました。来年の３月、子どもたちが「浦和大里小に通ってよかった」、保護者の方々も「浦和大里小に通わせてよかった」、教職員は「浦和大里小に勤めてよかった」と思える一年間となるよう、全力を尽くしてまいります。

新学期の準備が行われた４月５日、新６年生が、初めて出会う私に、にこっと笑顔でさわやかに挨拶をしてくれました。予定していた時間より１０分も早く終わるほど、てきぱき汗びっしょりになって仕事をしてくれました。６年生の姿をみて、「きっといい１年になる！」と、職員一同温かい気持ちになりました。職員室では、今日も、子どもたちの喜ぶ姿を目に浮かべながら、様々な準備を進めています。今年度も、引き続き御理解と温かい御支援をいただけますよう、重ねてお願い申し上げます。